

☆ 子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第12号 ☆ ☆

マイ スカイ

1996年7月2日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・責: 吉成正士

校内で、今年になって変わったこと。いろいろあるけど、お昼の放送。これは随分と様
 変わりしました。その日のお天気の放送も入ったり、また曲のリクエストもとったりして、
 すごく広報放送委員会が活発になってきました。

他にも、つい最近最近整美委員会がモップ掛けを廊下にとりつけてくれました。おかげで廊
 下が整理整頓され、すごく通行しやすくなりました。ありがたいことですね。

以前から生徒会専門委員会の活発化が言われてきましたが、やはり自分から動くとい
 うことは大切なことです。そのことが、生きがいのある生活にも結びつくように思います。
 みんなで知恵を出し合い、生活改善運動を、私たちの手で実現していきましょう！



◎けんちゅうだい 県中第2回かいじつこう 実行委員会いんかい リポート (6月15日: 吉野中学校)

6月15日、徳島県部落解放中学生集会の第2回実行委員会が、吉野中学校にて行われ
 ました。今回は、第1回よりも参加校が増え、大麻中学校、牟岐中学校、不動中学校、吉
 野中学校、美馬中学校、三島中学校、上板中学校、山川中学校、そして板野中学校と、県
 内各地から9校もの参加があり、前回以上に盛り上がりました。今回も各校の状じょう況きやう報ほう告こく
 などがメインになり、交流をはかることができました。

1回、2回と毎回参加校が増え、本番当日せいばんとうじつが盛さか況きやうに開催たいかいされることが、手応えとして感
 じられるようです。残念ながら、この日私は遅れて参加することになったので、そのもよ
 うをリポートすることはできませんが、第3回からはいよいよ本番当日せいばんとうじつの内容ないようにふれて話
 し合いがされるようで、「いよいよ動き出す！」といった感じです。ぜひとも集しゅうかい会かい運うん営えい
うらかたやく裏方役として、かつやく活躍かつやくしてみてください！

第3回実行委員会参加者を募る！！

来る7月13日第2土曜日、場を不動総合センターに変え、昼の1:30より第3回
 の実行委員会を行います。多くのおみなさんの参加をお待ちしています！

当日は各校の交流を深めるほか、8月7日本番の内容や日程、スローガンなどの具体的なことについても話が進められていくと思います。

参加希望者は、前日12日までに阿部または吉成まで連絡をしておいてください！

右のページに、吉野中学校の仲間が作ってくれた「実行委員会だより」を縮小コピーしておきますので、みなさん読んでみてください！

第2回
実行委員会
だより
制作・吉野中学校

六月十五日に行われた
交流会は、前回よりまた
くさんの中学校のみならず
んが暑い中、吉野中学校
へ来てくれました。それ
マ、自分の学校で起こっ
マ、いろいろ話したいま
なごに話したいと、
運管の交流会のテーマや
も盛り上がりました。
今回、初めて参加した人
もいるので最初は緊張し
まいたけど、最初に緊張し
顔が見えませんでした。に
んが初対面の人がほとん
どなので自分の意見を持
って話してみたいな気分
が出た。自分なりの意見
をいって話してみたいな
気分が湧いてきた。

以上9校参加しました。
吉野中学校
板野中学校
上板中学校
牟岐中学校
不動中学校
大森中学校
山川中学校
美馬中学校
三島中学校

だげど、次り会では、ち
んと意見が言えるよう
したいです。という声も
出ていたので、第2回交流
会は、
大成功。バッチグー
でした。
第2回交流会の報告
すわりぐ

第3回交流会の
予告ぐ

日時
7月13日(第二土曜日)
午後1時30分
5時終り

★場所
不動総合センター
(6/2に地回発行)

★内容
八月七日に行われる交流
会に向け、スローガンを
決定します。

る、島れ、ス考、下考、し、
せ、島わの、下考、し、
ら、徳行会、ン、マ、い、古、あ
知、校、れ、で、流、が、ま、良、ま、ま
お、学、を、休、交、一、マ、。、お、り
各、水、全、る、の、え、い、を、お、り

「差別」の中で

上

同和問題の今後

神戸市東部。住宅街の一角にある同和地区の住民は、阪神大震災が起きた昨年一月十七日のことを「ひとこのころが一瞬に過ぎた」と表現する。

震災で地区内の住宅の九割以上が全半壊した。狭い地区で、犠牲者は二十人を超えた。

路地に並んだ木造の古い家々が壊滅。住宅の再建は一部で始まったが、いまも手付かずのさら地が目立つ。

たのは一棟だけで、入居も始まっていなかった。事業実施区域は地区面積の七分集中した。一方、一九九三年度に改

来、多くの同和地区で改良住宅が建てられた。しかし、地区によっては着工が遅れるなど、ばらつきが大きい。同じ地区内でも、密集や老朽の程度などから、改良事業の対象にならなかった区域もある。大地震に襲われたことで、神戸や阪

基盤整備 地協協括部会の報告書は、同和地区の生活環境改善などの基盤整備は「おおかた完了した」として、特別対策から一般対策への移行を打ち出した。残る課題への対応に

震災の街 指定地域か否かで明暗

ていたとしても、犠牲を免れることはできなかったとみられる。

良事業が終わった兵庫県芦屋市の同和地区では、震災での死者は出なかった。地区内の公共施設には地区外の住民も避難してきた。長屋や老朽住宅を整理して建てられた六棟の鉄筋住宅が、住民の命を守った。

神戸市のある同和地区に住む中年の夫婦は、震災の今後を探る。

市西部にある大規模同和地区は、最も早く住環境整備が始まったとみられた。しかし、ここでも住宅改良事業の対象区域は地区面積の約四割で、残事業もあ

六九年に同和对策事業の特別措置法が施行されて以

神戸市の場合、同和地区の改良事業指定区域では、

「こんな複雑な状況の中で話をまとめるのは不可能に近い。市が首頭を取って、地元の人が入れる低家賃の公営住宅を建ててもら

神戸市の場合、同和地区の改良事業指定区域では、

神戸市のある同和地区に住む中年の夫婦は、震災の今後を探る。